

令和2年度
事業計画書
収支予算書

令和2年7月6日(月)



栗原市農泊推進協議会

～ 目 次 ～

I 事業計画	2
1 目的	2
2 事業概要	2
(1)ネットワーク化・コミュニケーションの実践	3
(2)宿泊・飲食事業の機会創出とサポート	3
(3)農産物等の販売促進	3
(4)体験プログラム創出	3
(5)サイクルツーリズム推進	4
(6)PR	4
(7)地域おこし協力隊	4
(8)その他	4
3 実施体制	5
II 収支予算	6
1 収入の部	6
3 支出の部	6

I 事業計画

1 目的

2カ年度にわたる農山漁村振興交付金を活用した事業の成果を踏襲しながら、今年度から新たな体制を構築し、事業に取り組む。栗原市における農泊推進事業を「栗原市の地域資源を活用した滞在型の旅の創出」と定義し、目的を達成するための事業を実践する。

(1) テーマ

- 地域内ネットワークを拡充し、コミュニケーションを強化することで事業を連携する
- 新型コロナウイルス感染症に対応した事業実施に取り組む
- 農泊推進事業を実施するためのプラットフォームとして利用価値のある組織を目指す

(2) 概要

ネットワークを拡充した新しい組織体制により、会員が実施する事業でネットワークを生かした会員の連携により、各会員の事業の充実をはかる。特に新型コロナウイルス感染症拡大防止によるイベント等の中止・延期による影響を軽減するため、代替イベント等を実施するための資金確保、人員の連携に重点を置いて取り組む。

2 事業概要

(1) ネットワーク化・コミュニケーションの実践

① 宿泊部会

宿泊事業者の運営サポートとネットワーク化をはかり、また開業をサポートするため宿泊部会を設置する。

② 運営部会

協議会の運営を検討するため、運営部会を設置し、連絡・相談の手段としてSNS・テレビ会議の活用も含めて実施する。

(2) 宿泊・飲食事業の機会創出とサポート

① 田舎ホームステイ

ホームステイによる滞在型の旅行商品を造成し実践する。2泊3日程度で民泊を中心としたツアー企画。

(一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク・地域おこし協力隊 狩野夏穂)

② 長屋門ステイ Project

(一社)くりはらツーリズムネットワークが所有する長屋門を宿泊施設化する。東京大学林憲吾研究室との共同プロジェクトで今年度は基本設計を作成する。

(一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク・地域おこし協力隊 狩野夏穂)

③日々農々時(ひび のう ときどき)プロジェクト

栗駒文字地区において拠点施設、農家民泊施設等の整備を重点的に行い、付随イベントを開催する

(一般社団法人栗原市観光物産協会・地域おこし協力隊 櫻庭伸也)

④宿泊プラン作成・販売

「ワーケーション」向けのプランや、農村体験、アクティビティ、地域の祭りをセットにした宿泊プランの作成を行う。

(一般社団法人栗原市観光物産協会・地域おこし協力隊 櫻庭伸也)

⑤開業支援講座

開業に有益な情報や事例を学ぶ講座を実施し、宿泊・飲食店開業を支援する。

(一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク・地域おこし協力隊 狩野夏穂)

⑥応急手当講習会

応急救護の手当の訓練プログラム「MFA(メディック・ファーストエイド)」の講習で、成人の救命法(CPR や AED)と救急法(一般的な応急手当)を身につける。

(一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク・地域おこし協力隊 狩野夏穂)

⑦先進地視察研修

6次産業化の事例や他地域の農泊の取り組み等をテーマに先進事例の視察や研修を行う。

(一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク・地域おこし協力隊 狩野夏穂)

⑧その他

栗原市の「2020 おかえり栗原。」プロジェクト等の定住・移住事業、他機関が実施する農泊関連事業と積極的に連携する。

(3)農産物等の販売促進

地域の農産物を活用したイベント、プロモーション等を地域内外の事業者と連携して行う。

※食卓プロジェクト、カフェ・パティシエ専門学校とコラボレーション、東北食のカプロジェクトと連携した飲食店フェア、郷土食と地元農業のイベントなど)

(くりはらファーマーズプロジェクト)

(4)体験プログラム創出

①体験プログラムの開発・実施

滞在型の旅行を創出するため、アクティビティの柱として体験プログラムを年間通じて創出する。

(一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク・地域おこし協力隊 狩野夏穂)

②栗駒国定公園アドベンチャーツーリズム創出事業

「キャンプ(子どもを含む)」、「サイクリング」、「イグルー(子どもを含む)」の3つのテーマの体験プログラムを軸にアクティビティ・自然・文化体験を組み合わせた少人数の宿泊を含むツアープログラムを創出する。

※環境省「国立・国定公園への誘客の推進と収束までの間の地域の雇用の維持・確保事業費等補助金」に申請中(7月下旬に採択結果)

(5)サイクルツーリズム推進

①くりくりサイクリングくらぶ

自転車カルチャーを創造し、市民や旅行者がサイクリングを楽しむ場を創出するため、自転車イベントを実施する。

(一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク)

②ツール・ド・いちはさま 2020

栗原の食や自然に触れるサイクルイベントを実施する。

(くりはらファーマーズプロジェクト)

③レンタサイクル

サイクルツーリズムを活用して地域経済を活性化させるため、くりこま高原駅等を拠点に自転車のレンタルを実施する。

(一般社団法人栗原市観光物産協会)

(6)PR

①SNS(Facebook)

Facebook ページを運営し、取組みをPRする。

②その他

他機関や報道機関への情報提供等を行う。

(7)地域おこし協力隊

令和元年10月に栗原市が任用した2名の地域おこし協力隊(農泊推進担当)と協力し、各事業を実施する。

氏名	主な担当事業	備考
櫻庭 伸也	・PR(イベント、Web、SNS等) ・旅行商品造成	(一社)栗原市観光物産協会
狩野 夏穂	・体験型コンテンツの企画、開発 ・人材(宿泊等事業者)の育成、支援	(一社)くりはらツーリズムネットワーク

(栗原市)

(8)その他

協議会の目的を達成するため、上記(1)から(7)の事業に加えて、柔軟に事業を実施する。

3 実施体制

(1)中核法人を中心とした主体事業

中核法人(一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク)の実施する事業を協議会の主体事業(主催)として実施する。

(2)会員主体の事業実施

会員が実施するもので農泊推進事業に合致するものを協議会の事業(主催・共催・協賛・協力等)として実施し、中核法人等を含む会員が連携・協力する。

(3)部会の設置による専門分野の特化

①宿泊部会

農家民宿(簡易宿所)・住宅宿泊事業法(民泊新法)の事業者及び新規開業を目指す人で構成し、宿泊施設のネットワーク化や知識・技術の共有、事業の連携などを実施するとともにコミュニケーションをはかる機会を創出する。

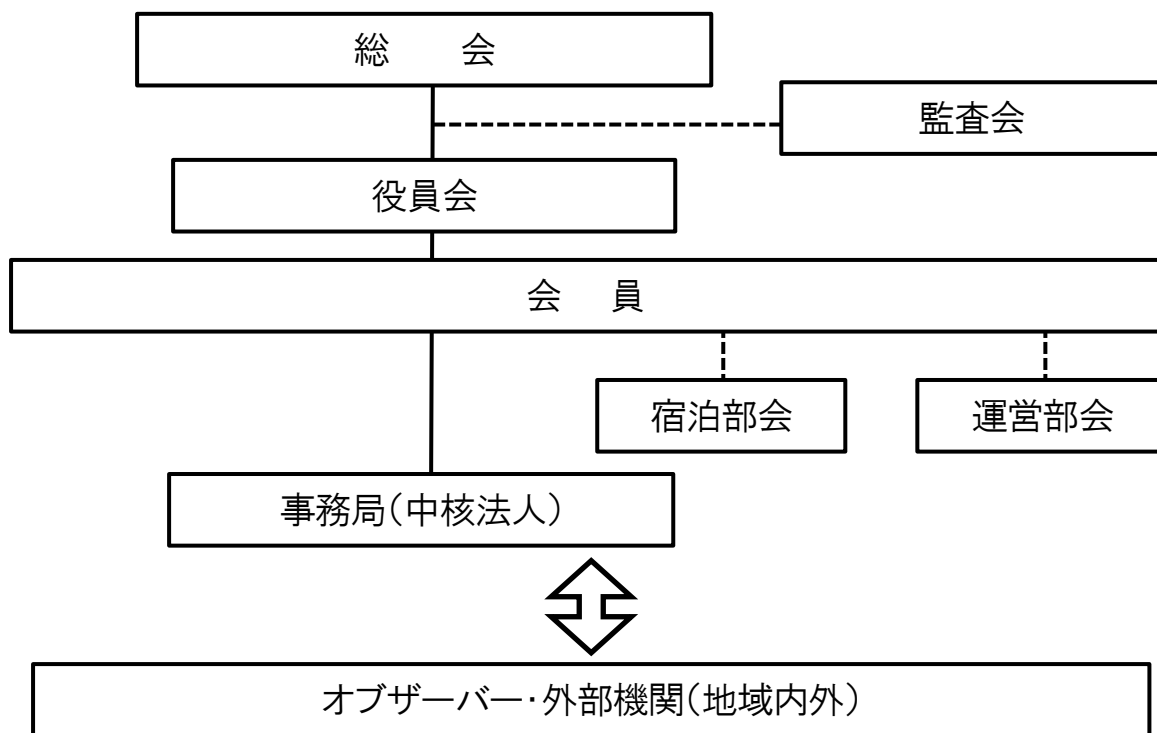
②運営部会

SNS(Facebook)やテレビ会議を含む手法で事業や取組みの詳細を協議するため、会員が任意で参加し、議論を自由にかわす場を創出する。

・部会(会議)の実施 ・Facebook グループページ ・テレビ会議

(4)外部機関との柔軟な連携

地域内外の関係機関と柔軟に連携する。



II 収支予算

収入の部	10,890,000円
支出の部	10,890,000円
差引残金	0円

1 収入の部

(単位:円)

No.	区分	前年度決算	予算	差引	摘要
1	交付金	7,666,958	683,385	△6,983,573	令31分精算払い
2	負担金	33,810	0	△33,810	
3	補助金	321,000	10,000,000	9,679,000	環境省「国立・国定公園への誘客の推進と収束までの間の地域の雇用の維持・確保事業費等補助金」
4	事業収入	490,380	200,000	△290,380	
5	借入金	591,135		△591,135	
6	雑入	0	3,469	3,469	
7	繰越金	0	3,146	3,146	
	計	7,793,424	10,890,000	3,096,576	

2 支出の部

No.	区分	前年度決算	予算	差引	摘要
1	人件費	2,531,715	4,500,000	1,968,285	人件費
2	需用費	96,245	4,000,000	3,903,755	消耗品
3	使用料・賃借料	794,336	200,000	△594,336	パソコン等
4	報償費	542,863	400,000	△142,863	講師謝礼、受入謝礼
5	役務費	47,885	500,000	452,115	切手代等
6	旅費	693,231	200,000	△493,231	打合せ等
7	租税公課費	0	30,000	30,000	収入印紙等
8	借入金返済	4,359,188	683,385	△3,675,803	令31分精算払い
9	雑費	34,674	376,615	341,941	借入利息、振込手数料
		9,100,137	10,890,000	1,789,863	

令和2年度
事業計画書
収支予算書



栗原市農泊推進協議会

(事務局)一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク
〒989-5504 宮城県栗原市若柳上畑岡敷味 45 番地
Tel.090-4889-5310 Email kurihara.tn@gmail.com